



## 各学校の特色ある教育 ～40分授業午前5時間制～

問い合わせ 教育指導課 ☎ 03-5722-9313 FAX 03-3715-6951

文部科学省から研究開発の指定を受けた目黒区立小学校17校は、「40分授業午前5時間制」の教育課程のあり方について、5年間にわたって研究開発を進めてきました。

目黒区の小学校が、一丸となって研究を重ね、去る11月1日・2日に研究発表会を開催し、成果を全国に発信しました。参観者からの質問とそれに対する回答の一部を紹介します。

なお、令和8年度を目途に、目黒区立の全小学校で40分授業午前5時間制を実施する予定です。

**Q 40分授業午前5時間制で、授業時間が5分短くなりますが、学力は維持できますか？**

**A 生み出した時間を生かして、学力のさらなる向上を目指しています。**

40分授業午前5時間制により、下校時刻が早まりますので、教員は次の日の授業の教材づくりに時間をかけることができます。教員がチームを組み、より分かりやすい授業を展開していきます。

### 烏森小

各教科等の授業にICTを用い、調べ学習、体験学習、話し合い活動が効果的にできるよう工夫しています。互いに学び合う協働的な学習の力が高まっています。



### 中目黒小

各教科等の指導では一部、児童が自分で学習の計画を立てて学ぶマイプラン学習(単元内自由進度学習)を取り入れています。自分で学習計画を立てるので、学習意欲や自己調整力が育っています。



### 向原小

算数科、理科に予習型授業を取り入れています。家庭学習などでの予習により、あらかじめ考えをもって授業を受けるため、主体的・対話的で深い学びがより充実し、学力の向上につながっています。

**Q 生み出した時間を使って、どのような教育活動を行っていますか？**

**A 各学校が、学校の特色を生かし工夫した教育活動を実施しています。**

教職員が一丸となって特色ある教育活動の工夫・改善に取り組んでいます。その中で各校とも、児童が自分の課題に即して自分なりの学習を自分の判断で行う活動に力を入れています。

### 駒場小

一週間の学習内容を、児童が自分で決めるプランニングの時間(プランニングタイム)が月曜日にあります。自分で学習内容をプランニングすることによって、受け身ではなく見通しをもって学ぶことができ、より主体的に学習や活動に取り組むことができます。

また、自分で決めた課題を探究していく学習時間(こま研)では、探究・協働の楽しさを味わい、体験する活動を通して主体的に学ぶ児童を育てています。

### 油面小

「関わりを深める時間」を昼の学校裁量の時間(20分間)に設定しました。年間4～5回、児童が主体的に講座を選択し、学年、性別、障害の有無に関わらず、同じことに興味がある仲間と活動する時間(アブラカタブラ教室)を設定しています。学年を越えた人との関わりによって学校生活がより豊かになっています。



## 区立学校・園における働き方改革を推進しています

問い合わせ 教育政策課 ☎ 03-5722-9432 FAX 03-5722-9332

目黒区教育委員会は、教職員が子どもたちと向き合う時間を創出するため、教職員の心身の健康、誇りとやりがいを持って勤務できる環境を確保することを目的に、区立学校・園における働き方改革を推進しています。

本年度、業務改善モデル校として4校を指定し、試行的な取組・検証を行い、効果的な取組については、全区立学校・園に広めていきます。

### 業務改善モデル校の具体的取組

#### ■田道小学校

##### 保護者連絡システムの活用

これまで欠席や遅刻等の連絡は、登校前までに保護者が連絡帳ノートに記入し、学校に届けていましたが、保護者連絡システムの利用が定着し、手持ちのスマートフォン等から学校に連絡することで、保護者・学校双方の負担が減っています。また、学校からのおたより等も保護者連絡システムでの配信により、確実に届くようにしています。



#### ■第十中学校

##### デジタルドリルの活用(紙ドリル購入の見直し)

授業でデジタルドリルを使用しています。生徒は、自身の学習履歴を参照し、課題を自分で選択して学習を進めることができるようになりました。また、教員もドリルを回収することなく、生徒一人ひとりの課題の取組状況を確認することができるようになっています。



##### 各種おたよりの配布方法の工夫

校内では、ペーパーレス化も推進しています。学校だよりや給食だより、保健だより、学年だより、学級だよりなど保護者連絡システムを活用して、各家庭に確実に配信しています。

#### ■緑ヶ丘小学校

##### 業務改善に取り組む意識の向上

2か月に一度、教職員に「業務改善が進んでいるか」「休憩が取れたか」等のアンケートを実施し、教職員に結果をフィードバックすることにより、業務改善に取り組む意識を高めています。

さらに、講師を招き、全教職員で業務改善に関する校内研修を実施しています。講師からは、学校が一丸となって働き方改革を進めるには、共通の目的や目標を持つこと、人や資源の活用、時間の確保が大切である等



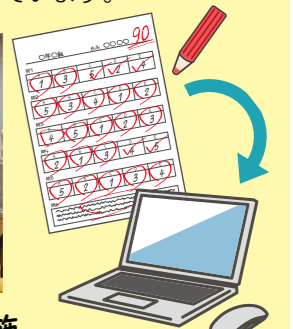
の指導を受け、さらなる業務改善に取り組んでいます。



#### ■目黒中央中学校

##### 自動採点システムの導入

自動採点システムにより採点業務の効率化を図っています。テストが自動採点された時点で、生徒全員の観点別の得点がパソコン上に集計されるため、採点、記録、分析の時間が、1～3時間短縮されます。生み出された時間は、採点結果のデータに基づいた生徒の学習指導の準備等に充てることができています。



##### 教職員の在宅勤務の試行実施

夏季休業期間中にオンデマンドでの研修受講や授業準備を行うなど、教職員の在宅勤務を試行実施し、本格導入に向けた課題の整理を行っています。